

こぶねだより

神奈川県立大船高等学校

校長通信 9月号

校長 富樫 由里子

令和元年9月17日



2学期が始まって早くも3週間が過ぎました。大船高校の最も大きなイベント、六国祭が7日に開催され、多くの保護者の方々にご来場いただきました。2種目終了毎に給水タイムを設けるなど熱中症への配慮を行ったため終了時刻が若干遅くなりましたが、閉会式の成績発表では歓喜の涙を浮かべる者あり、無念の沈黙を守る者あり。それぞれにリーダーシップを発揮し、また地道なフォローシップで下支えし、生徒たちが大きく成長する行事であったと実感しました。

さて、3年生はいよいよ希望進路の実現に向けてこれまでの努力を花開かせる時期を迎えます。高校3年生の誰にとっても上級学校の受験は初めての経験ですから不安を感じて当然。でもその不安を克服するのは自分自身です。これまで培ってきた力を言葉に託し、面接や論文で、また解答用紙等に、思い切り表現してください。

ところで、先日読んだ本になかなか興味深いことが書いてありました。4.5万人の高校2年生を約10年間追跡する調査の経過報告なのですが、大学生のデータからは「学生はゼロベースで学び育つわけではない」「大学1年生前期の学習成績と、大学3、4年生の学習成績との相関がかなり高く」「授業外学習時間やキャリア意識も変わりにくい」という傾向が読み取れるそうです。さらにその「大学1年時の資質・能力に大きく影響を及ぼす」のは「高校2年時における資質・能力」であり、大学で豊かな学びができるかどうかは、高校2年生までにどのような力を身に付けたかに大きく左右されるというのです。そしてその高校2年生までに身に付けたいのが、ひとつは「授業外学習」、もうひとつは「キャリア意識」とのことでした。「授業外学習」とは「好奇心をもって自ら学び、その面白さや頭の中にある知識・考えを他者に伝えられる力」といえるでしょうし、「キャリア意識」は「目の前にない将来を思い描き、その実現に向けて日々努力できる力」といえるでしょう。その根本にあるのが、自己理解であると思います。「他者」という鏡を通して自己を対象化しつつ「私」をとことん掘り進めていく、そのような活動を、授業や部活動、学校行事等で実践していくことが高校の果たすべき役割でありましょう。「進学」するための「学力」にとどまらず、進学後には自立した学習者として、そして社会に出てからは成熟した市民として、自らの頭で考え行動できる基礎体力を高校時代にこそ養わねばなりません。それを追求し続ける大船高校でありたいと思います。

大学入学共通テスト1期生となる2年生は、高大接続改革の成り行きに不安を抱くこともあると思います。必要な情報はきちんとキャッチしながらも、焦らず、踊らされず、まず自らを鍛えることを大切に考えていきましょう。

保護者懇談会のお知らせ

P T A 学年委員会からもお知らせがありますが次のように学年別保護者懇談会が行われます。10月9日の午前には、校内環境整備ボランティア活動も予定されています。

10月9日(水) 3学年懇談会

10月30日(水) 1学年懇談会

11月13日(水) 2学年懇談会

懇談会はいずれも午後の開催です。詳しくはP T A 学年委員会からのお知らせをご覧ください。

欠席等の電話連絡は各学年にお願いします。

1学年 0467-47-2374 2学年 0467-47-2375 3学年 0467-47-2376

本校ホームページもご覧ください。 <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/ofuna-h/>

ホームページが新しくなりました。旧ページもしばらくはご覧になれますが、情報の更新は行っておりません。上記の新しいアドレスにアクセスをお願いします。



ドキュメント！六国祭



水色、オレンジ、紫、桃色の4色とも気合十分。青空の下、開会式が始まります

男子応援合戦後は、引き、玉入れ、女子綱取り、男子騎馬戦と続きます



午前の最後は Cheer Leading。隊形変化やきびきびした動きに歓声が飛びます



午後は仮装、女子騎馬戦に続いて男子棒倒し。軽々と棒に昇って旗を手にした水色



最後の競技はカラー対抗リレー。総合優勝は紫。部門ごとの優勝は次の通りです。
 応援 桃色 cheer Leading 水色
 仮装 水色 パネル 紫 競技 紫